

# 「福島を忘れない」

大谷派僧侶有志がデモ(京都新聞2.10)



真宗大谷派の僧侶有志が9日、

原発事故について考える「ナムナム大集会」を京都市下京区の大谷婦人会館で開いた。福島県で暮らす人や避難者の報告を聞いた後、福島を忘れない」と訴えて市内をデモ行進した。集会は、社会問

題を切り口に宗祖親鸞の教えを見つめ直そうと毎年開いている。福島県二本松市の真行寺で暮らす佐々木るりさん(9)は、子どもと新潟県に一時避難した経過を振り返り、つづ、福島で暮らしているが正しいのか、まだ分からない。子どもに対し罪悪感を感じない日はない」と声を詰まらせた。福島から大阪に避難した

女性、相馬市の僧侶たちも複雑な心境を伝えた。集会後、約150人が東本願寺前を出発した。命を守れ「子どもを守れ」などと連呼しながら、烏丸通や四条通を進んだ。

乳幼児食品基準 不要」と意見＝セシウム100ベクレルで「配慮十分」放射線審

食品に含まれる放射性セシウムの新たな規制値案について、厚生労働省から諮問を受けた文部科学省放射線審議会が16日開かれ、1キログラム当たり50ベクレルとした「乳児用食品」や「牛乳」の基準について、特別の規格基準値を設けなくても、子どもへの配慮は既に十分なされた」となどとする意見が示された。

放射性物質による被ばくが懸念されている子どもへの特別な基準は不要とするもので、消費者や保護者から批判の声が上がる可能性もある。

厚生省の新規制値案では、食事による被ばく線量の上限を年1ミリシーベルトと以前より厳しく設定。穀類や肉、野菜など「一般食品」に含まれるセシウムの規制値は1キログラム当たり100ベクレル、新設される「乳児用食品」や「牛乳」は同50ベクレルなどとし、4月から導入するとしていた。これに対し、放射線審議会の意見では、1キログラム当たり100ベクレルの基準で、1歳未満を含む子ども年間被ばく線量が1ミリ

シーベルト以下に抑えることが十分可能なものになっていると指摘している。ヤフーニュース(16)意見は文科省03052534111、厚生労働省最終決定030525311111入

## 重要な医療資料(肥田舜太郎医師 子供を放射能から守る食事の工夫)

避難した一人の子どもを持つ母より全国の方への発信

「子供を放射能から守る食事の工夫」肥田舜太郎氏講演会で配られた書類「落としす」

- 1、水で表面や細かい隙間に入り込んでくる汚れや土をよく洗い流す。
- 2、葉物野菜はよく水洗いし、30分水につけ、再度洗うとストロロンチウムセシウムは水溶性なのでかなり落ちる。
- 3、ゆでる煮る酢に漬ける塩でもむなどで排出されやすくなる。

### 早く排泄する

便通を整えましょう。たまった不要物の75%は便として出て行きます。野菜や果物、芋類、海藻、こんにゃくなど食物繊維が不足しないように。とくにリンゴのペクチンがセシウムの排泄に有効。清浄な水、麦茶、番茶

などで水分も補給

骨や筋肉など体内に取り込まれ「へんがん」。

放射性物質は性質の似たミネラルのふりをして体内に取り込まれます。放射性ヨウ素↓ヨウ素 セシウム↓カリウム ストロントウム↓カルシウム プルトニウム↓鉄 海藻 野菜、青菜、大豆、カボチャ、枝豆などお勤。

お茶、柿の渋、栗の渋に含まれるタンニン化合物。植物に含まれるフラボノイド類など。昆布、柿の葉茶、番茶、野菜をたっぷりとるよつに。防御作用が強いのはみそ。熟成したみそ、納豆、発酵した漬物、梅干しなどは解毒し腸を丈夫に代え免疫力を高める。基本は日本の伝統食「長崎の秋月辰一郎医師の指導の元で生き延びた人々は、毎日玄米にごま塩ワカメのみそ汁カボチャの煮物梅干しに薬草茶などをたべていたよつです。砂糖や肉乳製品を減らし、ご飯にみそ汁に漬け物、野菜料理に豆腐や魚など、和食を心がけましよう。

免疫力を高める 1、いろいろな野菜をたっぷりとる 野菜の色や香りや苦みなどに含まれるポリフェノール、フラボノイド、イソチアシアネートなどがファイトケミカルです。強い抗酸化作用があり、体内被曝で発生する活性酸素の発生を抑える。

取り込まれた放射性物質が排出されやすいよつに代謝を良くする

水分の補給が大事。甘い水分冷たすぎる水分は代謝を悪くし回復力を落とすのでダメ。天然の解毒作用のある物質で放射性物質に結合して排泄する働きのあるもの。海藻に含まれるアルギン酸ナトリウム 以上

### 重松逸造（いづみぞう）氏死去

日本の疫学の第一人者とされ、原爆被爆者の健康を調査する「放射線影響研究所」放影研、広島市長崎市（の理事長などを務めた重松逸造氏が6日に肺炎のため東京都内の病院で死去したことが15日分かった。94歳。大阪府出身。

チェルノブイリから広島へ」より広河隆一著 1990年から91年にかけて国連の「AEEA 国際原子力機関」は、国際諮問委員会（IAEA）に大々的な調査を行なわせ、その結果を91年5月に発表しました。これがチェルノブイリに関する最も権威ある調査となったのです。中略（チェルノブイリ被災地住民にとって、調査といつのは、事故の被害を隠す目的で権力機関が行なうものだという意識がぬぐえませんでした。そつでなくても調査結果を教えてもらつことは決してありませんで

した。いづみ氏が今回は国連が調査をやつてくれるといつので、人々はやつと公平な調査が行なわれるといつて喜んだのです。しかも委員長は日本人で広島の学者だといつではありませんか。住民はついでこそ被害者の側にたつた調査が期待できると考えたのです。

いづみ氏が委員長である広島市の放射線影響研究所の重松逸造「理事長から発表された結果は、人々が失望するものでした。失望は怒りに変わったほつです。報告書には次のような言葉がつけられていたのです。

住民には……放射線被曝に直接原因があると見られる健康障害はなかった「ガンや遺伝的影響の自然発生率が将来上昇するとは考えにくい」「中略（移住や食品の制限は、もつと小規模でよかつたといえる。今以上に基準を厳しくするような改定は避けるべきである」「中略（つまり健康上の被害はない、食べ物心配も過ぎだと言っているのです。中略（IAEAの発表は世界中に大きな影響を与えました。もつチェルノブイリ事故の後遺症は終わったのだといつ印象を与え、救援も必要ないと考えた人が増えました。この報告書が発表された91年といえは、すでに小児甲状腺ガンが爆発的に発生していた時期です。中略（報告は、世界のチェルノブイリ救援



略（報告は、世界のチェルノブイリ救援

の流れに大きな悪い影響を与えました。しかしこの発表が誤りで、そのせいで救援体制が遅れ、病気に悩む人々もが田舎にいらして責任をとりかねばならぬのはだれがせいよいか。むしろそのため「死ぬ子どもが出る」として……。

### 肥田舜太郎さんと重松逸造さん

重松逸造さんが「へ」なした。94歳とは肥田俊太郎さんと同じではないか。何と「対比」がクローズアップされたんだらう。正直逆でなくてよかた。…と思ってしまう。私の中にはやはり肥田舜太郎さんを善しとする気持ちがある。でもふたつよみるのは、善悪のふたつ総じても「存知せざるなり」という親鸞上人の言葉。同じ時代に生まれ、何が肥田さんを肥田さんたらしめ、重松さんを重松さんたらしめたのか私にはわからない。受け継いだ業、縁等様々なことがあったんだらう。それを知りたいと思う。先達は「こんなに真逆の生き様を残し、私たちがどう生きるのかを迫ってくる。肥田舜太郎さんの講演が4月2日日本山で予定されている。貴重な先達の声を聞きに行きたい。」(惟)

### 原子カムフラと仲間うちの論理 前半

社会学者 内藤朝雄 図書新聞『302001』

福島第一原子力発電所が事故を起こし、大量の放射性物質が飛散した。事故直後から、政府の放

射性物質の拡散予測システムが働いており、風向きや地形により放射性物質が濃厚に飛散すると予測される地域では、避難させずに放置しておくば多くの人が被曝し確率的に殺される。確率的殺害については後半で説明する「じ」がわかっていた。しかし役人たちは、ひどい被曝が予想される地域の人々に何も知らせず隠蔽した。その「じ」は数年から十数年の間、避難していたならば病気になる「す」だはずの人々が確率的に病気になる、寿命を短縮せず「す」だ人々の寿命が確率的に短縮することになった。曰「ころ」からもちもたれ「て」生きていた役人たちの仲間うちの論理が、人の命よりも優先された。

それは、いじめ研究にたずさわる者が繰り返す「目」にする、いじめ自殺に対する学校関係者たちのふるまいと同じである。すなわち、人の命が失われたことに対して、マス・メディアが大々的に報道し、広い社会がゆゆしき問題としている「も」かかわらず、学校関係者たちは、それを驚くべき露骨なしかたで軽視し、隠蔽しようとする。外の社会がなんと非難しようとして、自分たちは「じ」の仲間うちの世界に埋め込まれ守られているという、強烈な感覚を、学校関係者たちは生きている。拙著『いじめの構造…なぜ「じ」が怪物」なるのか』講談社現代新書

またそれは、非加熱血液製剤によって薬害「エ」ズが広がり感染した患者が次々と死んでいくに

もかわらず、仲間うちの論理で、非加熱製剤を投与し続けた医師たちのケースと同じである。安全な加熱製剤「フリオ」を使うことを示唆した助教に対して、教授は「フリオを推すと君の将来はないよ」と言っただけで報じられた。

今回の原発事故で多くの人は、「じ」の「ム」の仲間たちのおかげで被曝して癌になったり死んだりしなければならぬ。原子カムフラとは、「じ」の仲間たちの代名詞である。それは、原子力発電の利益に直接関わる狭い意味での「原子力村」の中枢から離れていても、農林水産省の流通消費安全担当や、文部科学省の小中学校担当のよう「な」ころにも、広がっている。「じ」を切っても同じ顔があらわれる金太郎飴の絵柄のように、「ム」があらわれ、人の命よりも仲間うちの都合が優先される。

「じ」の仲間たちは、組織の陰に隠れていれば何をしても許されるという安心感があるかぎり、自分たちがやることが大きな社会問題「な」なくてもまったく動じることなく仲間うちの論理で動き続ける。彼らから隠れ場所を奪うことが重要だ。そこでなければ、いくら社会問題にして批判しても、彼らは同じ事を続ける。彼らから隠れ場所を奪うことで、人々を被曝による病や死から救うことができる。

ルポライターの広瀬隆と明石昇二郎は、福島県放射線健康リスク管理アドバイザーの山下俊一・長崎大大学院教授 現在、福島県立医大副学長)

らな、福島県内の児童の被曝安全説を触れ回ってきたことに関して、それを重大なる人道的犯罪と断定し、業務上過失致傷罪にあたるものとして刑事告発した」（週刊朝日『2011年 7月29

日』）。告発される前、山下俊一教授は記者から発言が批判されているが」と質問され、「心配なく。大学が守ってくれますよ」と語った（週刊文春『2011年6月2日』）。その後、東京新聞「次のような記事が載じた」（2011年7月28日）。原発事故に直撃された福島県で今月、脱原発団体が批判する学者や機関と県内の大学との連携の動きが相次いだ。福島大学は独立行政法人日本原子力研究開発機構（原子力機構）と連携協定を締結。福島県立医大では 年間一〇〇ミリシーベルトの被ばくまで安全」と講演した山下俊一（長崎大学教授が副学長に就任した。地元では 大学の権威で、被害の訴えが封じられるのでは」と、懸念する声も漏れている）私は、この連携と人事は、これから自分たちが責任を問われかねない被曝被害の隠蔽と証拠隠滅のために、原子力ムラが福島県の医学界を独占支配する布石ではないかと疑っている。大学はみごとに山下教授を守っている。いっけん些末な地方大学の人事と思われがちだが、これを許すと、自分の利益と社会的地位のために人を確率的に殺す 原子力ムラのエリートたちにとつての「守られている」という安心感を、確固たる既成事実として確立してしまう。またこれを許さないことは、これから確率的殺害を行う

原子力ムラのエリートたちの安心感を握り崩すことによつて、間接的に多くの人々の命を救う効果をもたらす。原子力ムラの生命を維持する根本栄養素は人事である。

原発事故による被曝の主要経路は、初期の短期的な外部被曝から、水や食物を介した内部被曝へと変わる。チェルノブイリの時も、多くの子どもたちを殺したのは、飲食物を介した内部被曝であった。食品に含まれる放射生物質は、長期低線量内部被曝によつて自然の摂理を逆転させ、これから長く生きるはずだった若い命ほど死にやすく、老いているほど死ににくい、生存曲線の地獄を生み出す。

この生存曲線の地獄をこれから日本で生み出す主役は、危険な安全基準値を設定し、汚染されたものを流通させる許可を与えて、人々の口に毒を入れる、厚生労働省や農林水産省の役人たちだ。ある意味で、東電はすでに人を被曝させて数年後から数十年後、子どもの場合には数年後から数十年後に大量の人々を確率的に殺してしまつたが、これから人を殺すのは厚生労働省と農林水産省だ。 続く

### 膨大な放射能を隠蔽する原子力産業 抜粋

ヨーロッパ放射線リスク委員会

クリストファー・バスビー博士

私の聞いたところによると、日本政府は汚染瓦礫を大々的に日本中に移動させ、焼却しよう

とつています。いいですね、どんな理由があるのでしょうか。皆様にお聞かせしなければならぬのは、この政策の裏に潜む残酷な理論です。子供達が心臓疾患や白血病、その他の病気で死にはじめることになったら、親達は法廷で事態の究明を求めることになるでしょう。親達が日本政府から賠償金を勝ち取るには、子供の死亡率の上昇が、高濃度の放射能汚染に起因していることを証明しなければなりません。このことを証明するためには、放射能に汚染されていない地域での子供のグループも検査して、それを確固とした証拠にしていくとしかありません。ところが目下日本政府が実行しようとしている汚染拡散政策によつて、そのような証明方法は完全に不可能にされてしまつたのです。まさに日本全土が破壊されようとしているのです！ 全国で癌の発生率が上昇し、比較用の検査グループ形成は不可能になってしまつてしまつてしまつた。

紹介者エフテルヒョフさんより、ドイツに住む日本の方で欧州の情報を知っているグループ（

日本政府が瓦礫拡散で国民総被曝させ、賠償責任をつやむやんにしようとしていっていることは、当初から私の夫もずっと指摘してきていました。私にはどうしてもブラッグシュークにしか聞かえませんでした。訴訟慣れたドイツ人的理論から見たら、目明「だぞう」です。